

## 第17回INAP木浦会議報告書

INAP加盟港におかれましては、第17回INAP木浦会議にご参加いただいたことに心から感謝を申し上げます。

第17回INAP会議は「INAPのエコポリシー」をテーマに、2015年9月1日と2日の日程で木浦市で開催されました。

INAPは1998年に、加盟港の間での交流と活動を拡大することを目的とした姉妹港の集まりとして発足しました。現在の加盟港は日本の高知港、スリランカのコロンボ港、中国の青島港、フィリピンのスービックベイ港とセブ港、インドネシアのタンジュンペラ港、韓国の唐津港と木浦新港の8つとなっております。

INAPの年次会議は今年で17回を数え、木浦新港が主催するのは2度目です。加盟港諸氏に対し、謹んで、今回の第17回会議は非常に大きな成功をおさめ、INAPの歴史に、組織がさらに大きくなるための新しい1ページを記したことを報告申し上げます。

本年は、海運、政府、地元企業からおおよそ300名が会議（総会、シンポジウム、レセプション）に参加しました。その中には、6つの加盟港（日本の高知港、フィリピンのスービックベイ港とセブ港、インドネシアのタンジュンペラ港、韓国の唐津港と木浦新港）からの代表者56名も含まれています。

第1日目（2015年9月1日）、会議の最初のイベントである歓迎夕食会は、参加していただいた代表者の皆さまにとって長旅の疲れをいやすリラックスした時間、互いに挨拶を交わす時間になりました。夕食会では、韓国の伝統音楽が演奏され、海上の噴水のパフォーマンスを鑑賞していただき、INAP木浦会議の第一日目を祝う日となりました。

第2日目（2015年9月2日）は、様々なイベントが開催されました。総会、開会式、シンポジウム、クルーズツアー、レセプションなどが行われました。総会はシナンビーチホテルのスカイラウンジで行われ、INAPの会長職がスービックベイ港のロベルトV.ガルシア長官から木浦新港のチョン・フンマンCEOに正式に引き継がれました。引き続き開会式では、地元経済人や官庁から多くの出席があり、第17回INAP会議を祝賀しました。シンポジウムでは、プレゼンテーションや基調講演が英語で行われました。出席されたINAPメンバー各位により会議についての考え方、「INAPのエコポートポリシー」、それぞれの経験についてのプレゼンテーションが行われました。これらのイベント開催中に、同時進行で、木浦市と高知県の公式会議も行われました。同日午後、加盟港代表者全員がクルーズツアーを楽しみ、木浦の美しい光景をご覧になりました。この会議の最後を締めくくるイベントとしてレセプション（送別夕食会）が行われ、INAP代表団の各長がそれぞれ記念品を交換し、韓国芸術の文化上演を楽しみました。

次回INAP会議はフィリピンのセブで開催されることが予定されています。我々は、最善を尽くしてINAPという組織の更なる成長のために尽くすことを誓い、INAPが引き続き、加盟港間の経済交流の基盤として存在することを期待しています。

来年、フィリピンのセブですべてのINAP加盟港の皆様とぜひお会いできること祈念し、また、各位のご支援とご協力を引き続きお願いする次第です。

INAP木浦会議事務局 / 木浦新港株式会社



